



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
 コード番号 7552 URL <https://www.happinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画室長 (氏名) 石丸 裕之 (TEL) 03-3847-0410
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	111,340	8.1	1,948	21.4	2,023	28.8	1,260	65.0
2020年3月期第2四半期	103,014	△1.5	1,605	△16.4	1,571	△15.2	763	△30.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,374百万円(96.6%) 2020年3月期第2四半期 1,207百万円(27.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	57.52	56.09
2020年3月期第2四半期	34.93	34.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	78,160	39,906	50.2
2020年3月期	70,754	38,178	53.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 39,272百万円 2020年3月期 37,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2021年3月期	—	25.00			
2021年3月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	2.9	3,700	43.9	3,500	45.0	2,100	71.5	95.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	24,050,000株	2020年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,133,271株	2020年3月期	2,142,271株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	21,910,942株	2020年3月期2Q	21,869,547株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2020年11月12日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの関連業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛や当社グループの取引先である商業施設の休業・営業時間短縮、商品の発売延期やイベント開催の中止などが発生いたしました。緊急事態宣言の解除後、市場環境は段階的に回復しているものの、依然厳しい状況で推移しております。その一方で、巣ごもりにより需要が高まった商品もありました。

このような状況の中、当社グループの経営成績につきましては、売上高はビデオゲーム事業が好調に推移したことや、玩具事業で2019年11月に模型玩具卸売事業に参入したことにより、前年同期を上回りました。営業利益、経常利益につきましても、適正在庫の維持により在庫の評価損失が減少したことや、販売費及び一般管理費の抑制により、前年同期を上回りました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う特例措置を受け、助成金収入を営業外収益に計上しております。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に特別損失としてハピネット設立50周年記念費用の計上があったことにより、大幅な増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,113億4千万円(前年同期比8.1%増)、営業利益は19億4千8百万円(同21.4%増)、経常利益は20億2千3百万円(同28.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億6千万円(同65.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①玩具事業

玩具事業につきましては、BANDAI SPIRITSの「一番くじ」関連商品や「鬼滅の刃」関連商品などのコンビニエンスストア向け商材が好調に推移したことや、2019年11月1日付けで株式会社イリサワの株式を取得(子会社化)し、模型玩具卸売事業に参入したことにより、売上高は前年同期を上回りました。利益面につきましても、適正在庫の維持に努め、在庫の評価損失が減少したことなどにより、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は398億1千8百万円(前年同期比8.2%増)、セグメント利益は11億7千4百万円(同65.5%増)となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、米津玄師のアルバム「STRAY SHEEP」や当社独占流通のアニメ「プリンセスコネクト! Re:Dive」のパッケージなど一部ヒット商品に恵まれたものの、外出自粛による配信サービスの普及の加速や新譜の発売延期などの影響を受けた第1四半期までの落ち込みをカバーするに至らず、売上高、利益面ともに低調に推移いたしました。

この結果、売上高は306億1千1百万円(前年同期比12.3%減)、セグメント利益は4億9千5百万円(同11.3%減)となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、巣ごもり需要により「Nintendo Switch」関連のハードや「あつまれ どうぶつの森」などの関連ソフトが依然好調に推移していることに加え、当社オリジナルのゲームアクセサリーの販売も伸長し、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は334億4百万円(前年同期比57.4%増)、セグメント利益は5億9千6百万円(同243.2%増)となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、外出自粛や当社グループの取引先である商業施設の休業・営業時間短縮が緩和され市場環境は段階的に回復しているものの、第1四半期までの落ち込みをカバーするに至らず、インバウンド需要の低下などの影響もあり、好調だった前年同期と比較して売上高、利益面ともに低調に推移いたしました。

この結果、売上高は75億5百万円(前年同期比25.5%減)、セグメント利益は2億8千6百万円(同63.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ74億6百万円増加し、781億6千万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加29億8千9百万円、受取手形及び売掛金の増加17億4千8百万円及びたな卸資産の増加13億5千3百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ56億7千8百万円増加し、382億5千3百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加55億9千6百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ17億2千7百万円増加し、399億6百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加12億6千万円、その他有価証券評価差額金の増加11億1千5百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少6億6千万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月23日の「業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、第2四半期(累計)の連結業績予想については、差異が生じたため修正いたしました。

詳細については、本日(2020年11月12日)公表いたしました「2021年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,410	17,399
受取手形及び売掛金	27,344	29,093
電子記録債権	2,759	3,667
たな卸資産	6,503	7,856
その他	4,078	3,217
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	55,086	61,225
固定資産		
有形固定資産	813	1,102
無形固定資産		
のれん	390	323
その他	2,197	2,254
無形固定資産合計	2,588	2,577
投資その他の資産		
投資有価証券	7,000	8,474
その他	5,299	4,813
貸倒引当金	△33	△32
投資その他の資産合計	12,266	13,255
固定資産合計	15,668	16,935
資産合計	70,754	78,160
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,188	27,784
未払法人税等	790	501
賞与引当金	242	239
その他の引当金	40	47
その他	4,735	4,899
流動負債合計	27,996	33,473
固定負債		
株式給付引当金	107	151
退職給付に係る負債	3,273	3,295
その他	1,197	1,333
固定負債合計	4,578	4,780
負債合計	32,575	38,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,912	2,912
利益剰余金	32,202	32,802
自己株式	△1,891	△1,877
株主資本合計	35,975	36,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,568	2,684
繰延ヘッジ損益	1	△0
その他の包括利益累計額合計	1,569	2,684
新株予約権	633	633
純資産合計	38,178	39,906
負債純資産合計	70,754	78,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	103,014	111,340
売上原価	91,267	99,451
売上総利益	11,747	11,888
販売費及び一般管理費	10,141	9,940
営業利益	1,605	1,948
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	77	92
新型コロナウイルス感染症による 助成金収入	-	36
その他	28	48
営業外収益合計	106	178
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	132	92
その他	8	10
営業外費用合計	140	103
経常利益	1,571	2,023
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	5	24
投資有価証券売却損	-	0
50周年記念費用	282	-
特別損失合計	287	25
税金等調整前四半期純利益	1,283	1,998
法人税、住民税及び事業税	386	465
法人税等調整額	132	273
法人税等合計	519	738
四半期純利益	763	1,260
親会社株主に帰属する四半期純利益	763	1,260

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	763	1,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	444	1,115
繰延ヘッジ損益	△0	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	443	1,114
四半期包括利益	1,207	2,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,207	2,374
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,283	1,998
減価償却費	297	346
のれん償却額	66	72
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△75	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46	22
受取利息及び受取配当金	△77	△93
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	5	24
投資有価証券売却損益(△は益)	-	0
為替差損益(△は益)	0	0
持分法による投資損益(△は益)	132	92
売上債権の増減額(△は増加)	840	△2,655
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,065	△1,346
仕入債務の増減額(△は減少)	3,664	5,596
その他	△2,394	651
小計	2,722	4,707
利息及び配当金の受取額	77	93
持分法適用会社からの配当金の受取額	57	57
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,218	△761
法人税等の還付額	0	342
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,638	4,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	149
有形固定資産の取得による支出	△50	△241
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△313	△350
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の売却による収入	-	1
その他	△16	△186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△386	△631
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	-
配当金の支払額	△658	△660
その他	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△664	△666
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	587	3,139
現金及び現金同等物の期首残高	17,447	14,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,035	17,371

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,785	34,921	21,227	10,079	103,014	—	103,014
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	36,785	34,921	21,227	10,079	103,014	—	103,014
セグメント利益	709	559	173	790	2,233	△627	1,605

(注) 1. セグメント利益の調整額△627百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△627百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	39,818	30,611	33,404	7,505	111,340	—	111,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	39,818	30,611	33,404	7,505	111,340	—	111,340
セグメント利益	1,174	495	596	286	2,553	△604	1,948

(注) 1. セグメント利益の調整額△604百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△604百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。